

公共施設マネジメントについて

1 帯広市の公共施設等の現状と課題

本市では、人口の増加や都市化の進展に合わせて、学校や市営住宅、文化・スポーツ施設のほか、道路、公園、上下水道など、多くの公共施設等を整備してきました。

今後、これらの公共施設等の多くが年数の経過により老朽化が進行し、大規模改修や建て替えの必要な時期を迎え、市の財政運営の大きな負担となることが懸念されています。

また、人口減少・少子高齢化により財政状況は一層厳しさを増すことが予想されるほか、人口構成の変化やライフスタイルの多様化などにより、公共施設等に対する市民ニーズも変化してきています。

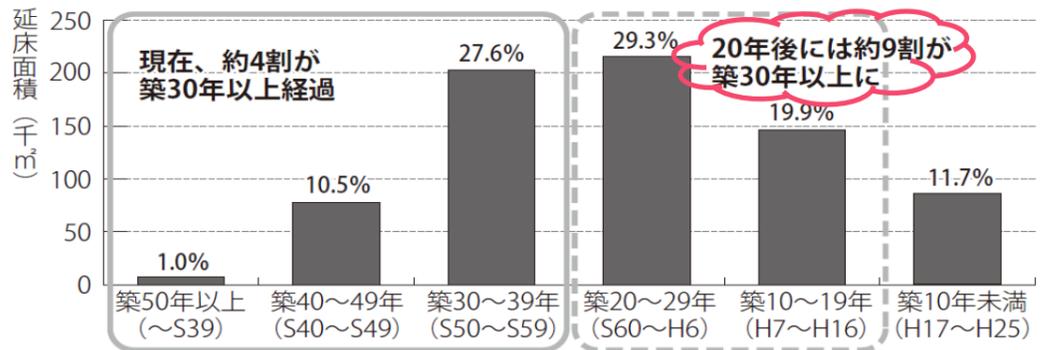


①施設の老朽化

公共施設（建築物）は、昭和40年代後半から平成10年代にかけて造られたものが多く、一般的に大規模修繕や改修が必要とされる建築後30年以上を経過した建物は約4割を占めており、今後20年で、その比率は約9割まで上昇が見込まれています。

○進行する公共施設の老朽化

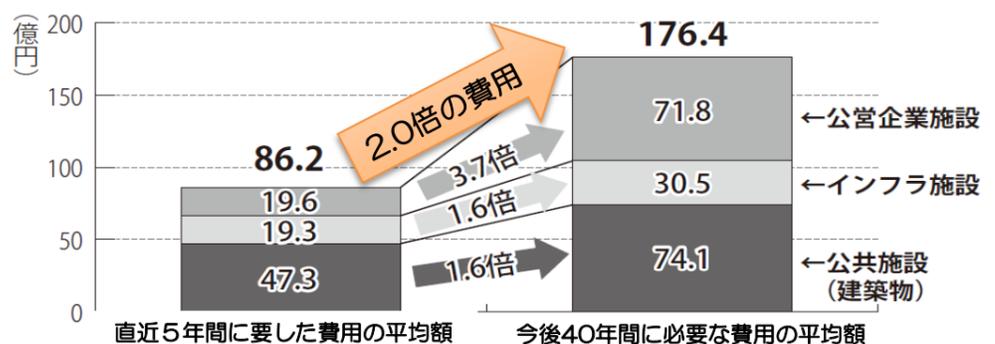
※()内は、公共施設を整備した年度を記載しています。



②多額の改修・更新費用

現在の公共施設等を全て保有し続けた場合を想定し、今後40年間で必要となる1年当たりの改修・更新費用を試算したところ、直近5年間に公共施設等の大規模改修や建て替えのために要した1年当たりの費用の2倍の金額となりました。

○今後の改修・更新費用は現在の2倍（推計）

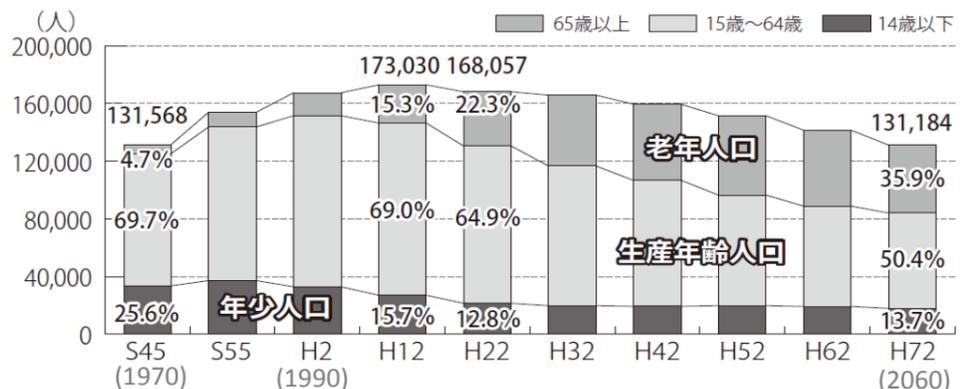


③市民ニーズの変化

帯広市人口ビジョンでは、帯広市の人口は平成72年には現在よりも約2割減少し、昭和45年と同程度の13万1,184人になると推計しています。また、年少人口や、生産年齢人口が減少する一方、老年人口は増加を続け、平成72年には約36%に達するものと見込んでいます。

こうした人口構成の変化などに伴い、施設によっては、施設整備時の利用想定と実際の利用実態に乖離が生じています。

○人口減少と少子高齢化



2 困難になりかねない公共施設等のサービス提供

公共施設等の現状や課題を踏まえると、現状と同程度の改修・更新費用を維持できたとしても、本市が設置・運営する公共施設等の半分が更新できず、公共施設等をこれまでと同じ水準で維持し、同様にサービスを提供することが困難になりかねない状況にあります。

3 公共施設マネジメントの必要性

今後は、社会経済情勢の変化などに対応し、将来にわたり公共施設等のサービスを安定的・持続的に提供していくため、市民ニーズや市の財政状況を考慮しながら、施設機能が効果的に発揮するよう、公共施設等の長寿命化や施設総量の適正化などに取り組む「公共施設マネジメント」を進めていく必要があります。



(仮称)帯広市公共施設マネジメント計画(案)概要

1 計画の概要 本編P1～P2参照

- ・長期的な視点を持って公共施設等の機能が効果的に発揮するよう、公共施設マネジメントの基本的な方針や考え方を示すもの
- ・本市が設置・運営する公共施設のほか、インフラ施設、公営企業施設を含めたすべての公共施設等を対象
- ・計画期間は、平成29年度から平成48年度までの20年間

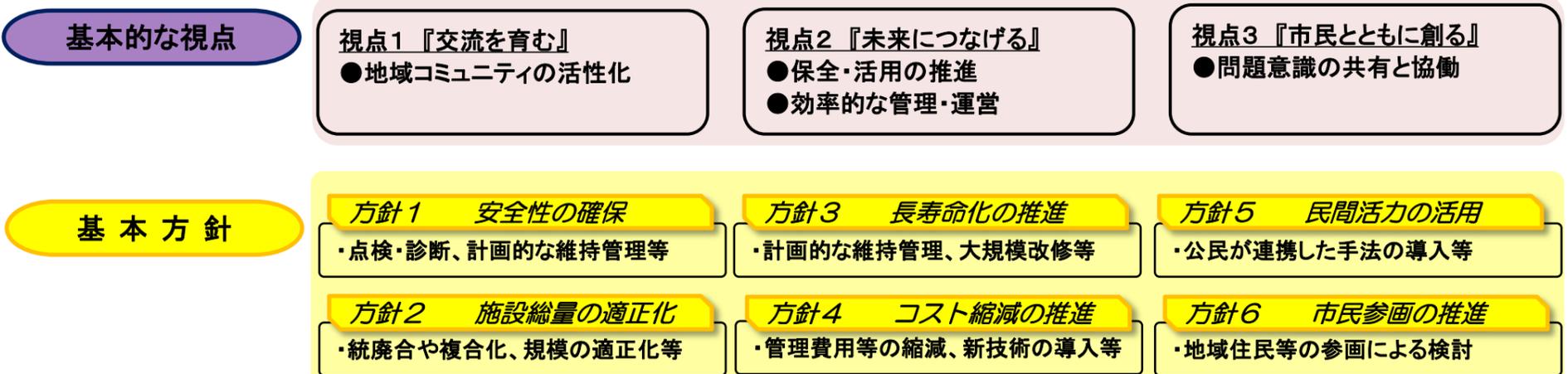
2 公共施設等の現状と課題 本編P3～P16参照

公共施設等の現状 (1) 公共施設 ・建築後30年以上経過した建物の割合は約39%であり、今後20年で約9割まで上昇 (2) インフラ施設 ・整備後30年以上経過した道路は全体の約4割、公園は約5割、水道管は約6割のほか、整備後60年以上経過した橋梁は1橋 (3) 公営企業施設 ・整備後40年以上経過した水道管は全体の約1割、今後10年で約4割まで上昇	人口の状況 ・「帯広市人口ビジョン」では、平成72年には、現在よりも約2割減少し、131,184人と推計
公共施設等の更新費用の将来推計 ・公共施設等の改修・更新に、今後40年間で必要な費用は約7,058億円、単年度あたり176.4億円となり、直近5年間の投資的経費合計の平均である86.2億円の約2.0倍	



3 公共施設マネジメントの基本的な視点・方針 本編P17～P19参照

- ・公共施設等のサービスを安定的・持続的に提供していくため、市民ニーズの変化や本市の財政状況を考慮しながら施設機能が効果的に発揮するよう、三つの基本的な視点と六つの基本方針に基づき、公共施設等のマネジメントに総合的に取り組む



4 施設類型ごとの考え方 本編P20～P42参照

- ・基本方針に基づき具体的に取り組むにあたり、施設類型ごとにそれぞれの特性を踏まえ、今後の考え方をまとめた

1 公共施設 <ul style="list-style-type: none">● 地域コミュニティ施設 ・民間活力導入による施設運営、長寿命化、複合化や民間施設の活用など● 学校教育系施設 ・小中学校の適正配置、長寿命化や複合化など● 公営住宅 ・供給戸数の見直し、長寿命化や民間活力の導入など● 社会教育・スポーツ系施設等 ・長寿命化、民間活力の導入など● 子育て支援施設 ・民間活力の導入や複合化など● 行政系施設 ・長寿命化、複合化や統廃合など● 産業系施設 ・民間活力の導入など● 保健・福祉・医療施設 ・計画的な維持管理など● その他施設・普通財産 ・その他施設 基本方針に従って取り組む ・普通財産 除却や売却、貸付けなど	2 インフラ施設 <ul style="list-style-type: none">● 道路・橋梁 ・点検・診断に基づき長寿命化● 公園 ・公園内の施設の長寿命化・更新・廃止・転換、民間活力の導入など● 簡易水道・農村下水道 ・上下水道事業の一元化、効果的・効率的な管理手法の検討など	3 公営企業施設 <ul style="list-style-type: none">● 水道 ・施設の長寿命化・施設配置や再構築の検討、民間活力の活用、新技術の導入など● 下水道 ・管渠の延命化・更新・施設の統合、民間活力の活用、新技術の導入など
--	--	--

5 計画の推進 本編P43参照

1 計画の推進体制 ・「帯広市公共施設マネジメント推進本部」において調整を行い、関係部署が連携 ・施設の更新や複合化等にあたっては、プロジェクトチームを設置	2 情報の管理と共有 ・公共施設の現状に係る情報を定期的に更新し、データベースとして管理・活用 ・帯広市有施設建築保全システムの有効活用など、改修履歴等の関係部署間での共有	3 取り組みにあたって ・マネジメントの基本方針や施設類型ごとの考え方に基づき、施設総量削減の視点、広域連携の視点、既存施設の有効活用の視点、利用者や若い世代など市民の意見を踏まえた検討
---	---	---

意見を送るには

資料を読んだ感想などを含め、ご意見をお聞かせください



ホームページ



郵送・ファクス



ご持参

意見などの提出先
帯広市政策推進部企画課(市庁舎5階)
〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1番地
ファクス: 0155-23-0151

ここをクリックすると意見を提出するページにリンクします